

鉄筋溶接技術講習会規定の改正について

鉄筋溶接技術講習委員会
委員長 中込 忠男

1. はじめに

本協会は、平成19年に「鉄筋溶接継手性能小委員会」を設置し、鉄筋溶接継手部の品質性能に関する調査研究を推進し、その成果を報告した。その後、溶接継手の施工法はより多様化し、さらに監（管）理が一段と複雑化していることや施工品質の信頼性が懸念されている状況から、平成24年に「溶接継手施工要領検討小委員会」を設置し、炭酸ガスシールドアーク半自動溶接法の基本形であるトーチシールド工法に照準を当て、種々の技術的課題に取り組み、本協会は溶接継手の一般工法である「JRJI鉄筋溶接継手工法」を開発した。

さらに、本協会は「JRJI鉄筋溶接継手工法」の普及展開と溶接継手の品質の維持向上のため、平成28年7月に鉄筋溶接技能者向けの鉄筋溶接継手技術講習会を開始した。

しかし、講習会が2日間に亘ることや受講料の受講者負担が大きいことから、本協会は鉄筋溶接技術講習会の見直し検討を行ってきた。

平成29年7月に鉄筋溶接技術講習会規定を改正し、講習会のカリキュラムや受講料が変更された。

2. 改正の内容

(1) カリキュラムの改正

これまで講習会は2日間で実施していたが、より受講し易い講習会とするため見直しを行い、実技講習に力点をおいた講習を1日間（9：00～17：00）で実施することとした。

カリキュラムは次のとおりである。

- 1) 受付等
- 2) 座学講習
 - ①JRJI鉄筋溶接継手工法の概論
 - ②JRJI鉄筋溶接継手工法の溶接施工要領と施工手順
 - ③溶接技量検定試験と受験のポイント
 - ④技量資格者倫理
- 3) 実技講習
 - ①基礎技能（ブリッジ溶接）訓練

②実技技能（試験体制作）訓練

③機械試験・総評

また、受講者が講習会に持参する物は次のとおりである。

1) 座学講習

①受講票

②筆記用具

2) 実技講習（必要な裏当て材及び防風フードは協会に貸与する。）

①半自動溶接機及び溶接機材一式

②鉄筋（試験片制作本数7本分）

(2) 受講料の改定

これまで受講料は1名当たり80,000円だったが、講習会が2日間から1日間に変更になったことや講習で使用する鉄筋を受講者が用意することで、25,000円に改定した。

3. 平成29年度鉄筋溶接技術講習会開催日程

今後の講習会の開催は次のとおり予定している。

平成29年8月11日(金) 大阪

平成29年10月7日(土) つくば

平成29年11月4日(土) 福岡

平成30年1月13日(土) つくば

平成30年2月17日(土) つくば

なお、上記以外にも随時の開催を予定しているため、受講希望の方は協会まで連絡いただきたい。

4. 受講申請

受講の申請は、本協会ホームページに受講申請書があるので、必要事項を記入し、開催日の180日前から30日前必着で受付を行っている。

5. JRJI鉄筋溶接施工会社認定

本協会が認定している「JRJI鉄筋溶接施工会社」は、社内で「鉄筋溶接技術講習会」を2名以上受講していることが申請の要件となっている。

「JRJI鉄筋溶接施工会社」は、随時で申請の受付を行っている。